

令和6年(2024年)11月1日発行

埼玉県 白岡市と連携協定締結

教育分野を中心に双方の資源を活用



協定書を交わした竹内学長(左)と藤井市長

本学と白岡市(埼玉県)は10月4日、今後より一層の連携協力を図り、地域における教育、文化等の充実と発展に寄与することを目的として連携協定を締結した。

締結式は白岡市役所において執り行われ、竹内貞雄学長と藤井栄一郎市長が協定書に署名した。

8月7日、宮代町が主催する「宮代町ゼロカーボン推進協議会」のキックオフセミナーが同町のコミュニティセンター「進修館」を会場に開催された。

冒頭、新井康之町長により本協議会への期待が述べられた後、産業技術総合研究所の歌川学氏に続いて本学の雨宮隆二教授が「宮代町のゼロ

また本学は、2008年同町と積極的な地域貢献・産官学民の連携に関する包括協定を締結し、地域連携を強化してきた経緯がある。これを踏まえて、改めて脱炭素に特化した「宮代町のゼロ

9月9日に町役場内で行われた調定式では、新井町長と本学の竹内貞雄学長が覚書に署名した。竹内学長は、「本学としては環境活動に関する様々なノウハウを提供し、新しい脱炭素の展開に広げられるように協力していきたい」と述べた。今回の覚書締結を起点として、同町全体の脱炭素を推進するよう連携を密にして取り組んでいく。

までの連携協力の実績を礎とし、主に教育分野において双方が持つ資源を有効に活用することにより、一層の協力を発展させていくものだ。貴学との関係をさらに深め、地域における学校教育や生涯学習の拡充を進めていきたいという抱負を述べた。

覚書を交わした竹内学長(右)と新井町長

覚書を交わした竹内学長(右)と新井町長

雨宮教授による講演

宮代町と連携・協力の覚書締結

2024年度第17回重要科学技術史資料(愛称「未来技術遺産」)に工業技術博物館が所蔵する「日本初の実用形彫放電加工機 Japaxtron D3」(現存最古級のマイコンNC搭載彫放電加工機)の2つの資料が登録された。登録証授

重要科学技術史資料登録

与式が9月10日、国立科学博物館において催された。工業技術博物館学芸員の上原嘉宏助手が出席した。

重要科学技術史資料は2008年度から「科学技術の発達上重要な成果を示し、次世代に継承していく上で重要な意義を

持つもの」や「国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えたもの」に該当する資料が選定され、重要科学技術史資料登録台帳に登録される。

本学の資料の他には、DVDの普及に貢献した「P」など18資料が登録された。

式典には今回資料が登録された企業等の代表者、国立科学博物館関係者、報道関係者など約50名が参加した。

国立科学博物館の篠田謙一館長の挨拶、重要科学技術史資料登録委員会の田辺義一委員長

式典会場となった日本館の1階には今回登録された資料を紹介するための特設コーナーが設けられた。各資料の説明パネルが展示され、一般来館者も足を止めて興味深く見入っていた。

令和6年度高等学校DX加速化推進事業 DXハイスクール 支援プロジェクト 専門学科教員によるDX関連科目の出前授業 「探求的学び」「情報II」の充実、教員向け研修

まだまだ間に合う年内合格！2025年度入試日程

Table with 2 columns of exam schedules. Left column: 入試種別, 出願期間, 試験日と試験会場, 合格発表日. Right column: 入試種別, 出願期間, 試験日と試験会場, 合格発表日.

日本工業大学大学院 一般入学試験・社会人特別選抜 ◆大学院工学研究科 (博士前期課程・博士後期課程) ■2025年度 入試日程

# 第38回建築設計競技

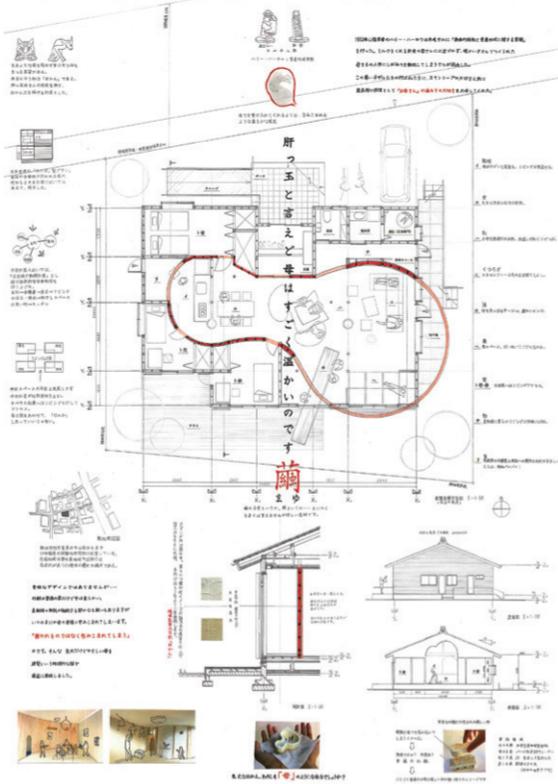
## 全国から31校89作品

### 「肝っ玉母さんのような家、あるいは頑固親父のような家」

#### 【審査委員長の講評】

今回の課題はやや難しかったかもしれませんが。それは課題を一度咀嚼する過程が必要だったからです。しかし高校生の皆さんはそれを軽く乗り越え、素敵な提案を示してくれました。課題を作ったものとしては案を見るまでは少々不安でもありましたが杞憂でした。こんなコンペに参加させてくれたことに感謝します。そして皆さんが素敵な建築家になることを夢見ております。

坂牛卓  
(建築家/東京理科大学 教授)



1等作品

#### 入賞者

審査結果	氏名	学校名
1等	○大川 実月 松山 心優	広島市立広島工業高等学校
2等	小野 蓮央	大分県立大分工業高等学校
3等	井筒 拓実	神戸市立科学技術高等学校
審査員賞 (坂牛卓)	松岡 祐人	三重県立四日市工業高等学校
審査員賞 (西本真一)	小野木 晴菜	愛知県立一宮工科高等学校
審査員賞 (竹内宏俊)	五十嵐 桂大	仙台市立仙台工業高等学校
佳作	田村 逸記	神戸市立科学技術高等学校
佳作	下村 水愛佳	富山県立富山工業高等学校
佳作	池田 梨華子	富山県立富山工業高等学校
佳作	杉山 七瑚	愛知県立豊橋工科高等学校
佳作	渡邊 葵	福島県立福島工業高等学校
佳作	田崎 修也	茨城県立つくば工科高等学校
佳作	原田 怜奈	秋田県立由利工業高等学校
奨励賞	○中岡 依央莉 西野 優大 古家 康佑	堺市立堺高等学校

○印は共同作品の代表者

審査結果	氏名	学校名
奨励賞	奈良 龍乃輔	青森県立弘前工業高等学校
奨励賞	竹本 琉貴	岡山県立津山工業高等学校
奨励賞	高木 宥叶	岡山県立津山工業高等学校
奨励賞	坂田 旭歩	岡山県立津山工業高等学校
奨励賞	内田 陽菜	岡山県立津山工業高等学校
奨励賞	宮崎 可恋	兵庫県立龍野北高等学校
奨励賞	菊池 薫	福島県立福島工業高等学校
奨励賞	伊東 一真	福島県立福島工業高等学校
奨励賞	久保田 悠友	北海道旭川工業高等学校
奨励賞	東海林 剛	福島県立勿来工業高等学校
奨励賞	○松尾 拓哉 ハーンシュマン 海翔	国立明石工業高等専門学校
奨励賞	○山本 悠河 竹田 昊史	国立明石工業高等専門学校
奨励賞	土田 眞菜	愛知県立愛知総合工科高等学校
奨励賞	早川 柚輝	愛知県立愛知総合工科高等学校
奨励賞	林 撞実	愛知県立愛知総合工科高等学校
奨励学校賞	※応募多数校	福島県立福島工業高等学校

## 埼玉県の県民参加型企画に協力

### ミュージックビデオを編集 大野知事に作品完成を報告



大野知事(中央)に作品を手渡す杉森研究室メンバー

埼玉県は年初より、県 施。本年1月から1カ月 への愛着と魅力訴求を目的とした参加型企画を「琵琶湖よりの愛をこめて」の主題歌「ニューイタ」を編集し、ミュージックビデオを制作して、大野知事に作品完成を報告した。大野知事

は「多くの動画が違和感なく繋ぎ合わせられ、1つの作品にまとめられていることに驚いた。多くの時間と労力を費やして、このような素晴らしい作品を制作してくれたことに感謝する」と謝辞を述べた。これに対し同学科4年の風見成春さんは「苦労した分、知事から賞賛をいただけて大変うれしい。あらためて埼玉の良さを感じ、埼玉の愛が深まった」と述べた。杉森教授は「プロジェクト型の動画制作は教育的にも極めて価値がある。投稿者の想いをくみ取って、よい作品に仕上げようと努力する学生たちの姿に成長を実感している」と述べた。



動画の視聴はこちら

## 川口信金寄附講座

### 第一線の実務家が講師 「創業の基礎」



飯田理事長(右)から竹内学長へ目録を授与

9月2日、川口信用金庫(埼玉川口市)による寄附講座「創業の基礎」の贈呈式が行われ、同金庫の飯田理事長より竹内学長へ目録が贈呈された。本講座は毎年開講される。

近年の学生優位の「売り手市場」の傾向は、2025年卒採用においても継続している。企業側からすれば、10月の内定式までには採用予定人数を満たして当年度の採用活動を終了させたいという声がある。一方で、年度末まで積極的な募集を継続させる企業も非常に多いというのが実情である。また、まだ十分な機会が残されているので、現時点で未内定の4年生であっても、諦めてしまう必要は全くない。

本学の2025年卒の内定状況は、6・7月時点までには前年より数ポイントほど内定率が低い状況であったが、8月末以降は前年を上回る状況となっており、年度末の最終的な内定率も昨年同様、90%台の後半になるものと見込んでいる。

売り手市場を反映した就職スケジュールの早期化傾向もさらに強まっている。3学年の夏季休業中、あるいは秋季に各企業が実施するインターンシップやオープンカンパニーに参加した学生が、早期選考に進んで年内に企業からの内定を得るようなケースも多くなっている。

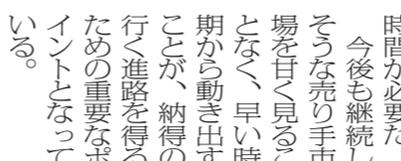
この早期化の流に乗り遅れないためには、3学年の春学期のうちから自己分析や企業研究を済ませ、早期選考でのエントリーの提出や適性の準備をする必要がある。すなわち、現在では3年生に進級した直後から就職活動が始まるという状況である。

「早く内定を得ること」ではなく、「自分が納得できる進路を得ること」にある。とはいえ、「自分は本当に何をやりたいのか」を見極め、「自分の強み」を志望先に伝えて理解してもらうには、十分な準備のための時間が必要だ。今後も継続し、売り手市場を甘く見ることなく、早い時期から動き出すことが、納得の行く進路を得るための重要なポイントとなっている。

#### 就職支援

### 売り手市場を甘く見ず、早期の活動開始を

保護者のための就職ガイダンス(本年5月実施)



## NITプロダクトデザインコンテスト2024

### 個性あふれる187作品が応募

機械工学科が主催する高校生対象のプロダクトデザインのコンテスト。4つの部門で作品を募っている。

各部門には毎年異なるテーマが設定されており、今年はオリジナルアイデア部門が「気分を上げるプロダクト」、3Dモデリング部門が「動く機構をもったプロダクト」、3Dプリンタ造形部門が「おもしろい形のオブジェ」となっている。このほか、自由な発想でプロダクトを提案する自由部門がある。

今年はオリジナルアイデア部門89作品、自由部門58作品、3Dモデリング部門21作品、3Dプリンタ造形部門19作品の応募があった。各賞とも最優秀賞は該当なしであった。

#### 審査結果

各賞	氏名	高校名
3Dプリンタ造形部門		
優秀賞	安藤 心音	岐阜県立岐南工業高等学校
特別賞	井原 光貴	愛媛県立新居浜工業高等学校
特別賞	川添 貴史	岐阜県立岐南工業高等学校
佳作	菅原 大騎	宮城県登米総合産業高等学校
3Dモデリング部門		
優秀賞	ト蔵 知之	鳥根県立松江工業高等学校
優秀賞	乾 有羽	東京工業大学附属科学技術高等学校
佳作	佐々木 輝星	鳥根県立松江工業高等学校
佳作	澤松 希海	愛知県立半田工科高等学校
佳作	岡部 洸佑 横山 大地	長野県岡谷工業高等学校
オリジナルアイデア部門		
優秀賞	平子 輝和 後藤 アミル	愛知県立半田工科高等学校
特別賞	白井 翔哉 上村 龍生	岐阜県立岐南工業高等学校
特別賞	宮澤 佑岳	長野県岡谷工業高等学校
佳作	毛下 詩音	愛知県立半田工科高等学校
佳作	後藤 綾乃 福岡 暖心	岐阜県立岐阜総合学園高等学校
佳作	齋藤 心優	栃木県立足利工業高等学校
佳作	三邊 雅洵	富山県立小杉高等学校

各賞	氏名	高校名
佳作	小池 絵万 安藤 咲栄 倉本 愛子 藤木 美空 好田 ゆい	新潟市立高志中等教育学校
佳作	清水 詩音	富山県立小杉高等学校
自由部門		
優秀賞	小瀬 脩矢 八代 佳祐	岐阜県立岐南工業高等学校
優秀賞	戸叶 佑奈	栃木県立足利工業高等学校
特別賞	泉田 優介	宮城県登米総合産業高等学校
特別賞	笠原 禪汰 今井 翼	長野県岡谷工業高等学校
特別賞	小谷 龍之介	松翠学園 岐阜第一高等学校
佳作	大城 正浩	群馬県立伊勢崎工業高等学校
佳作	松永 幹史	松翠学園 岐阜第一高等学校
学校奨励賞		
		茨城県立つくば工科高等学校
		青森県立弘前工業高等学校
		鳥根県立松江工業高等学校
		富山県立小杉高等学校
		栃木県立足利工業高等学校



# 失われた30年だったか？

大学院技術経営研究科 教授 小井川 明良

日本経済の停滞は、失われた10年から更に20年と続き、失われた30年といわれている。実業に携わり、アカデミックの世界に居ると、この表現には若干の違和感を持つ。バブル崩壊後の景気後退、コロナ禍の経済低迷を受け、企業や個人の多くが困難に遭ったこと、想定よりもインパクトが大きく、長期化したのは事実。一方、欧米のように、会社経営が行き詰まり、会社生き残りの為、解雇が頻発する光景は、日本では、少なからず感じられた。失われた30年ではなく「調整に要した30年」なのではないだろうか。景気は、上が

れば下がり、下がれば上がる循環の波を持つ。投資が大きいと調整の谷が大きくなり、調整期間も長くなる。景気調整は、建築物の建替えの循環である20年周期の「クズネツツの波」や設備投資の10年周期の波であり、「ジューグラーの波」でも説明されている。バブルは、インパクトが大きかったが、今調整が終わる、株価の上昇、オフィスの新規開発、積極的設備投資等、明るい兆しが見え始めている。バブル崩壊後に、株主・利益重視に舵を切った大企業も増えた。具体名には触れないが、自社

を引起し、構造改革による成長を実現すれば、日本経済復活の力強い成長の道筋が見えてくる。しかし、単に景気の波に乗るだけでは不十分。日本には、新しいビジネスを起し、産業構造を抜本的に改革し、新たな成長を牽引するイノベーションが不可欠である。日本が、イノベーションの波である50年周期の「コンドラチエフの波」

## 夏休みの子供向け体験教室

本学では毎年の夏休み期間中、近隣の児童・生徒と保護者を対象として、ものづくりや実験が体験できる各種イベントを開催している。今夏もものづくりや科学の魅力を体験できる多彩なプログラムを用意し、教員や学生が指導にあたった。各イベントとも定員を上回る盛況ぶりであった。



宮代町児童クラブ理科実験教室



加須市少年少女発明クラブロボット工作教室

イベント名称	主な内容	実施日	参加数
スチューデントラボ 中学生科学教室	どきどきボックスを作ろう～はんだを使った面白電子工作～	7/27(土)	20名
宮代町児童クラブ 理科実験教室	超低温の実験 (液体窒素)	8/2(金)、8/7(水)、8/19(月)	120名
スチューデントラボ 親子ものづくり教室	二足歩行ロボット、発電ボートの製作など5テーマ	8/3(土)	75組 150名
加須市少年少女発明クラブ ロボット工作教室	ロボットキット工作、プログラム演習	8/7(水)	15名
応用物理学会 オンラインリフレッシュ理科教室	「着せ替え万華鏡」の工作と、光の実験	8/10(土)	6名
幸手市中央公民館 夏休みこども科学教室	「3色LEDランプ」の工作と、液体窒素の実験	8/17(土)	10名
関東地区リフレッシュ理科教室 (茨城会場)	「光の噴水」の工作	8/20(火)	30名
関東地区リフレッシュ理科教室 (埼玉会場)	「ゼンマイカー」の工作と、超低温vs超高温の実験ショー	8/24(土)	40名
越谷市児童館コスモス体験イベント	インタラクティブアート・ゲームの体験	8/3(土)、4(日)	229名

## 専門職大学院オープンキャンパス

2024 12/7(土) 2025 1/25(土)

説明会、パネルディスカッション、模擬授業、キャンパスツアー等を実施予定

※日程、内容を変更する場合があります。WEBサイトをご確認ください。 TEL. 03-3511-7591 mot@kanda.nit.ac.jp

## 財務状況報告

第57期決算・第58期予算

一 はじめに  
第57期決算、第58期予算が監査法人及び法人監事の監査を受け、法人理事会・評議員会で承認決定されたため、ここに財務諸表をお知らせし、関係各位のご理解と引き続きのご協力、ご支援をお願いいたします。

二 2023年度決算について  
2023年度に本学が行った主な事業等は次の通り。

学校法人会計基準に基づいた財務諸表について説明する。「資金収支計算書」(別表1)は、当該年度の教育研究等の諸活動に対するすべての収入と支出の内容及び支払資金(現預金)の増減を明らかにしたものである。「事業活動収支計算書」(別表2)は、大学の経営状態を明らかにするもので、企業会計における損益計算書に相当する(詳細後述)。「貸借対照表」(別表3)は、年度末における財務状況を明らかにしたものである。

その要因は、学生数の減少による収入の減少である。収支の主な内訳は、学生生徒等納付金56億6900万円、手数料は8200万円、経常費等補助金等は6億8600万円、人件費は31億8700万円、教育研究経費は31億3000万円、管理経費は7億5900万円となった。

結果、事業活動収入(別表2①②③の収入計)は70億8200万円、事業活動支出(別表2④⑤⑥の支出計)は73億4100万円。差額である基本金組入前当年度収支差額は1億2300万円支出超過となった。

2024年度予算は、収入の部では、学生生徒等納付金について学生数を厳しく予測した予算とした。補助金や外部資金は引き続き積極的に申請・獲得を目指していく。支出の部では、年々増加する猛暑日でも、快適に体育館が利用できるよう、体育館の空調設備設置工事を進め、農業分野を工学的視点でアプローチするセンターを設置するなどの事業を考慮した予算とした。

(別表1) 資金収支計算書 単位:千円

科目	予算	決算	差異
<b>収入の部</b>			
学生生徒等納付金収入	5,589,044	5,668,508	△ 79,464
手数料収入	88,800	82,075	6,725
寄付金収入	64,300	76,602	△ 12,302
補助金収入	681,000	685,996	△ 4,996
付随事業・収益事業収入	87,105	151,948	△ 64,843
受取利息・配当金収入	92,030	123,280	△ 31,250
資産売却収入	0	158	△ 158
雑収入	186,654	273,035	△ 86,381
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,821,284	1,939,930	△ 118,646
その他の収入	741,751	516,360	225,391
資金収入調整勘定	△ 2,185,647	△ 2,350,004	164,357
前年度繰越支払資金	5,251,773	5,251,773	0
収入の部合計	12,418,094	12,419,663	△ 1,568
<b>支出の部</b>			
人件費支出	3,230,318	3,185,192	45,126
教育研究費支出	1,993,659	2,015,590	△ 21,931
管理経費支出	668,069	646,211	21,858
借入金等利息支出	23,924	23,923	1
借入金等返済支出	307,200	307,200	0
施設関係支出	407,460	161,126	246,334
設備関係支出	228,510	147,627	80,883
資産運用支出	285,000	446,770	△ 161,770
その他の支出	465,938	562,703	△ 96,765
予備費	100,000	100,000	0
資金支出調整勘定	△ 57,865	△ 219,640	161,775
翌年度繰越支払資金	4,765,881	5,142,961	△ 377,080
支出の部合計	12,418,094	12,419,663	△ 1,568

(別表4) 資金収支予算書 単位:千円

科目	2024 (R6)	2023 (R5)	増減
<b>収入の部</b>			
学生生徒等納付金収入	5,364,788	5,589,044	△ 224,256
手数料収入	73,980	88,800	△ 14,820
寄付金収入	77,900	64,300	13,600
補助金収入	666,000	681,000	△ 15,000
付随事業・収益事業収入	76,375	87,105	△ 10,730
受取利息・配当金収入	100,030	92,030	8,000
資産売却収入	0	0	0
雑収入	110,914	186,654	△ 75,740
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,867,195	1,821,284	45,911
その他の収入	1,194,052	741,751	452,301
資金収入調整勘定	△ 1,939,930	△ 2,185,647	245,717
前年度繰越支払資金	5,142,961	5,251,773	△ 108,812
収入の部合計	12,734,264	12,418,094	316,170
<b>支出の部</b>			
人件費支出	3,199,813	3,230,318	△ 30,505
教育研究費支出	1,971,463	1,993,659	△ 22,196
管理経費支出	714,957	668,069	46,888
借入金等利息支出	20,957	23,924	△ 2,967
借入金等返済支出	307,200	307,200	0
施設関係支出	565,928	407,460	158,468
設備関係支出	227,863	228,510	△ 647
資産運用支出	265,000	285,000	△ 20,000
その他の支出	401,225	465,938	△ 64,714
(予備費)	50,000	100,000	△ 50,000
資金支出調整勘定	△ 46,147	△ 57,865	11,718
翌年度繰越支払資金	5,056,006	4,765,881	290,124
支出の部合計	12,734,264	12,418,094	316,170

(別表5) 事業活動収支計算書の主要項目の分析表

主要項目の分析比率 (%)	2023 (R5)	2022 (R4)	増減
補助金/事業活動収入	9.7%	10.1%	△ 0.4%
人件費/経常収入	45.3%	42.1%	3.2%
教育研究経費/経常収入	44.1%	44.2%	△ 0.1%
管理経費/経常収入	10.8%	10.6%	0.2%
借入金等利息/経常収入	0.3%	0.4%	△ 0.1%
人件費/学生生徒等納付金	56.2%	51.8%	4.4%

(別表2) 事業活動収支計算書 単位:千円

科目	予算	決算	差異
<b>収入の部</b>			
学生生徒等納付金	5,589,044	5,668,508	△ 79,464
手数料	88,800	82,075	6,725
寄付金	49,300	61,532	△ 12,232
経常費等補助金	681,000	685,996	△ 4,996
付随事業収入	87,105	151,948	△ 64,843
雑収入	186,654	236,540	△ 49,886
教育活動収入計	6,681,903	6,886,599	△ 204,696
<b>支出の部</b>			
人件費	3,221,586	3,187,360	34,226
教育研究経費	3,031,975	3,103,011	△ 71,036
管理経費	784,224	759,350	24,874
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	7,037,785	7,049,721	△ 11,936
教育活動収支差額	△ 355,882	△ 163,123	△ 192,759
<b>特別収支</b>			
<b>収入の部</b>			
受取利息・配当金	92,030	118,592	△ 26,562
その他の教育活動外収入	0	36,606	△ 36,606
教育活動外収入計	92,030	155,198	△ 63,168
<b>支出の部</b>			
借入金等利息	23,924	23,923	1
その他の教育活動外支出	249,620	254,539	△ 4,919
教育活動外支出計	273,544	278,462	△ 4,918
教育活動外収支差額	△ 181,514	△ 123,264	△ 58,250
経常収支差額	△ 537,396	△ 286,387	△ 251,009
<b>特別収支</b>			
<b>収入の部</b>			
資産売却額	0	158	△ 158
その他の特別収入	35,000	40,087	△ 5,087
特別収入計	35,000	40,245	△ 5,245
<b>支出の部</b>			
資産処分差額	20,000	12,552	7,448
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	20,000	12,552	7,448
特別収支差額	15,000	27,693	△ 12,693
(予備費)	100,000	0	100,000
基本金組入前当年度収支差額	△ 622,396	△ 258,694	△ 363,702
基本金組入額合計	△ 465,000	△ 443,980	△ 21,020
当年度収支差額	△ 1,087,396	△ 702,674	△ 384,722
前年度繰越収支差額	△ 1,222,817	△ 1,222,817	0
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 2,310,213	△ 1,925,491	△ 384,722
(参考)			
事業活動収入計	6,808,933	7,082,042	△ 273,109
事業活動支出計	7,431,329	7,340,736	90,593
経常収入(教育活動収入計+教育活動外収入計)	6,773,933	7,041,797	△ 267,864

(別表3) 貸借対照表 単位:千円

科目	2023 (R5)	2022 (R4)	増減
<b>資産の部</b>			
固定資産	46,645,991	47,516,402	△ 870,411
有形固定資産	21,160,419	22,028,365	△ 867,945
特定資産	25,449,889	25,441,284	8,604
その他の固定資産	35,683	46,754	△ 11,071
流動資産	5,323,668	5,349,180	△ 25,512
合計	51,969,659	52,865,582	△ 895,923
<b>負債の部</b>			
固定負債	4,123,490	4,429,020	△ 305,531
流動負債	2,969,517	3,301,216	△ 331,699
合計	7,093,007	7,730,236	△ 637,229
<b>純資産の部</b>			
科目	2023 (R5)	2022 (R4)	増減
基本金	46,802,143	46,358,163	443,980
翌年度繰越収支差額	△ 1,925,491	△ 1,222,817	△ 702,674
合計	44,876,652	45,135,346	△ 258,694
負債及び純資産の部合計	51,969,659	52,865,582	△ 895,923

※注:千円単位等で表示する際に単位未満を四捨五入しているため、端数調整のための差異が生じる場合があります。

近年では、コロナ禍や成人年齢の引き下げ、AIの発展など、学生生活は目まぐるしく変化している。2027年に迎える学園創立120周年・大学設立60周年に向けて、学生がより充実した環境で学修できるように施設設備の整備計画を検討するとともに、中長期計画のアクションプランを明確に打ち出し、実現に向けて邁進していく所存。その過程で、今後も関係各位のご理解とご協力、ご支援を賜りたい。引き続きお取り計らいいただきます。(財務部)

# 学生フォーミュラ日本大会2024

## 全国の強豪校の中、総合6位と大健闘

カレッジマイスタープログラムの一環であるフォーミュラ工房のプロジェクトチームが学生フォーミュラ日本大会2024に参戦。目標の「全種目完遂・完走」を達成し、参加75チーム中で総合6位、コスト審査2位、エンデュランス（耐久走行）5位など優秀な成績を収めた。

大会は静的審査が9月3日～6日にオンラインで、動的審査が9月9日～14日にAichi Sky Expo（愛知県国際展示場）において実施された。



# 夏祭り開催！盆踊り、打上花火を実施

学生自治会の体育会本部主催「第52回夏祭り」が8月3日～4日に開催された。

今年の夏祭りはコロナ禍後初の2日間開催となり、毎年恒例の各種露店や盆踊り大会に加え、打上花火が実施された。

両日とも夏空が広がる中、熱中症や食中毒対策に取り組みながらも、参加者は大いに盛り上がった。



# 品質工学会日本規格協会 理事長賞

機械工学科の二ノ宮進一教授が6月28日、第9回品質工学会日本規格協会理事長賞（2024年）を受賞した。永年にわたる品質工学の実践と普及活動を通して我が国の経済社会の発展に多大な貢献をした功績が高く評価された。

二ノ宮教授は学生及び企業人への教育を通じて品質工学の実践と普及に力を注ぎ、学会や公的機関での執筆や講演を通して各地で企業人向けの啓蒙活動を展開。専門の機械加工領域の研究に関する発表や講演を行い、品質工学会論文賞を含む各賞を多数受賞している。



受賞に際し二ノ宮教授は「地道で実直な活動を続けてきたことも嬉しい。これからは学生や社会人の教育・研究を通して、社会に役立つ若い人材の育成に微力ながら尽力したい」と抱負を述べた。

# 国際学術研究産業協会 最優秀論文賞

7月4日、国際学術研究産業協会第一回I-O-T（AI国際会議において）本学教員と学生が最優秀論文賞を受賞した。



加藤准教授  
情報メディア工学科の加藤利康准教授の受賞論文は「フィジカル



コンピュータリングを活用したAI学習教材の開発」。手で触れて体験しながら機械学習を学べる教材を製作。AIにできること、得意なことを知るための教材として、AIへの理解を深める学習効果が期待されている。

# 木質構造研究会 第一部門賞(杉山英男賞)

建築学科の那須秀行教授が6月28日、木質構造研究会の第一部門賞(杉山英男賞)を受賞した。長年にわたる木質構造に関する技術開発の実績、それに基づく教育界での後進の育成、木質構造用ねじのJIS化への貢献が高く評価された。



感謝を述べる会

9月23日には共同研究者一行が本学を訪れ、受賞の「感謝を述べる会」が催された。

# 応用物理学会 講演奨励賞

環境共生システム学専攻博士前期課程2年(池添研究室・受賞当時)の鈴木智明さんが9月17日、応用物理学会の講演奨励賞を受賞した。受賞論文題目は「永久磁石によって磁気浮上した水溶液中の溶質の単結晶成長」。



本研究では、固体物質が溶けた水溶液を磁石で浮上させた状態で、結晶成長技術において特に重要な単結晶の育成に関して、条件を制御すること、一つの水滴から一つの単結晶が得られることを実証し、この技術の高い将来性と新規性が評価された。今後は、タンパク質の結晶育成など、宇宙ステーションで行われる実験の予備実験への応用も期待される。

# 知的システム研究会 優秀発表賞

ロボティクス学科4年(大久保研究室)の木串力隆さんが7月6日、日本知能情報ファジィ学会知的制御研究会から優秀発表賞を受賞した。受賞論文名は「歩行リハビリテーション用パートナーロボットの開発」。



下が課題となっている。本研究では、患者の前で道案内をしながら移動する

# 日本赤十字社より感謝状

7月30日、埼玉会館(さいたま市)で開催された「第55回紅彩の国さいたま」の集いにおいて、日本赤十字社から本学に感謝状が贈呈された。同社は献血に継続的に協力している団体等に対し感謝の意を表すため表彰を行っている。本学学生および教職員による50年以上に及ぶ献血協力活動に対し謝意が示された。

本学では今後も、学生および教職員の助け合いの心を育む機会として献血を推進していく。

人事異動

【昇任】(10月1日付)  
 ◆勝木祐仁准教授(建築学) ↓ 教授に昇任  
 ◆野口憲治助教(建築学) ↓ 准教授に昇任  
 【任命】(9月1日付)  
 ◆入試課長 塩入修  
 ◆LCセンター事務課長 鈴木史朗  
 (10月1日付)  
 ◆基幹工学部機械工学科 神雅彦教授  
 ◆基幹工学部応用化学科 芳賀健教授  
 ◆先進工学部ロボティクス学科長 安原鋭幸教授  
 ◆先進工学部データサイエンス学科長 桑野文洋

教授

◆大学院工学研究科電子情報メディア工学専攻長 宇賀神守教授  
 ◆大学院工学研究科建築デザイン学専攻長 佐々木誠教授  
 【退職】(8月31日)  
 ◆青木能成事務職員(総務課)

国外出張

◆西本真一教授(建築学) / 出張先 II エジプト(8/15~9/4) / 目的 II コーム・アル・ディバウ遺跡発掘調査  
 ◆桑原拓也教授(機械工学科) / 出張先 II インド(8/24~9/4) / 目的 II 超音波関連技術の国際会議における発表と情報収集

【日程変更】249号掲載より変更  
 ◆内田祐一教授(応用化学科) / 出張先 II 中国(9/1~9/8) / 目的 II 第9回アジア鉄鋼国際会議での発表と情報収集

◆石原次郎教授(情報メディア工学科) / 出張先 II アメリカ(9/24~10/1) / 目的 II The Other Art Fair Brooklyn 2024 出張  
 ◆吉野一教授(建築学) / 出張先 II 台湾(10/24~10/27) / 目的 II 現地開発企業との打ち合わせ(研究奨励テーマ「電気集塵機の油煙除去に関する研究」)

◆桑原拓也教授(機械工

町代 250号

宮代町の SNS をチェックしよう！

宮代町の情報は、公式ホームページのほか、X、LINE、Instagram 等で発信しています。

観光情報や暮らしの情報、四季折々の風景などは伝えられない情報をお届けします！

宮代町公式 SNS は QRコードから！